

令和2年度

主な事業をお知らせします

今年度、市では次の4つを重点施策と位置付けて、その他の事業にも取り組みながら、各種施策を展開していきます。

いきいきとした活力あるまちづくり

子どもが健やかに生まれ育つまちづくり

健康で心豊かに暮らせるまちづくり

安全・安心で快適なまちづくり

※(仮称)西部地区防災コミュニティセンター建設事業費と小・中学校情報教育推進事業費は、昨年度の補正予算に計上された額で今年度に繰り越しして進めていく事業となっています。

いきいきとした活力あるまちづくり

(仮称)西部地区防災コミュニティセンター建設事業……………5億6900万円  
今年度早期に建築工事に着手します。

■地域産業振興事業……………1億6303万円  
中小企業振興資金融資制度や住宅リフォーム助成事業を継続して実施します。

また、中小企業・小規模企業振興基本条例に基づき関係機関などが集まる場を設け、取り組みについて協議していきます。

■観光振興事業……………1275万円

駅前のにぎわい創出と地域経済の活性化を目的とし、駅前広場の使い方を紹介するイベントなどを行い、駅前広場の活用促進に努めます。

また、各観光振興団体、DMO、近隣市町と連携して国内外から観光客を誘致する取り組みや、市民交流の場である「いわぬま市民夏まつり」の支援を行います。



■企業立地推進事業……………1億4896万円

工業用地への積極的な企業誘致を継続するとともに、一定の要件を満たす立地企業に対して奨励金を交付します。

また、労働力不足や人材育成などの課題に対応するため、関係機関と連携し、市民を中心とした雇用の創出と事業者の安定操業を支えます。

子どもが健やかに生まれ育つまちづくり

子ども医療費助成

……………1億8667万円  
現在は15歳に達する年度末まで助成していますが、10月1日から助成対象を18歳に達する年度末までに拡大するとともに、所得制限を撤廃します。助成される医療費は、入院・通院などをした場合の保険診療による自己負担額です。

■特定不妊治療費助成……………220万円

県事業「不妊に悩む方への特定不妊治療支援事業」の助成を受けた方への追加助成を行い、特定不妊治療に係る経済的負担を軽減し、少子化対策に努めていきます。

■公立保育所運営事業……………1億4835万円

東保育所の定員を90人から110人に増員するために必要な保育士の確保に取り組み、保育所などの待機児童の解消に努めます。

■特別保育(私立)事業……………7668万円

障害児等保育補助金を増額し、民間保育施設における障害児保育の受け入れ促進を図り、保育所などの待機児童の解消に努めます。

■私立保育園等助成事業

……………1億7280万円  
多様な保育ニーズの確保や保育所などの待機児童対策として、国や県の交付金などを活用し、民間の幼稚園や保育所に対する認定こども園への移行支援を行います。

健康で心豊かに暮らせるまちづくり

小・中学校施設維持修繕・改修事業

3億6400万円

児童・生徒の安全確保を優先し、安心して学べるように学校施設の修繕や改修などを進めていきます。

小学校では岩沼南小学校校体育館の照明をLEDに交換し、岩沼西小学校の体育館長寿命化工事も行います。

また、中学校では岩沼北中学校校体育館の屋根修繕も行います。

小・中学校情報教育推進事業

4億206万円

文部科学省GIGAスクール構想の実現に向け、校内情報通信ネットワークの整備と情報端末の整備を進めていきます。

健康長寿推進事業

2億137万円

高齢者福祉の増進と敬老精神の高揚を図ることを目的に、88歳、99歳、100歳を迎えた方に特別敬老祝い金の支給を行います。

また、長年ご家族や地域社会の発展のために尽くしてこられた80歳以上の方を対象に、長寿を祝う「敬老のつどい」を引き続き開催し、健康長寿の推進を目指していきます。

家族介護支援事業

2億250万円

各種サービスを提供することにより、高齢者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、高齢者の在宅生活の継続、充実を推進していきます。

高齢者福祉推進事業

1億74万円

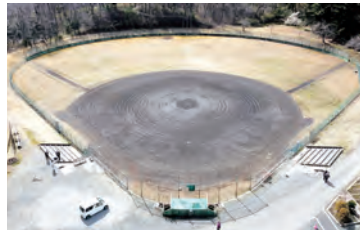
高齢期を迎えても可能な限り住み慣れた地域で暮らしていくことができるよう、「岩沼市いきいき活動マップ」を活用し、交流サロンの開設が少ない地域を重点に、交流サロン推進事業の活用促進に取り組み、集える場所の充実を図っていきます。



朝日山公園スポーツ施設改修工事

7億730万円

スポーツ振興くじ助成金を活用して、朝日山公園野球場の改良工事を行うほか、テニスコート4面の改修工事も併せて行い、スポーツ環境整備に取り組みます。



市民会館空調設備改修工事

7億942万円

昭和61年の開館以来使用してきた空調設備は、経年劣化が著しく、各所に不具合が生じていることから、12月から令和3年6月までの約7カ月間、大ホール・中ホール・リハーサル室を閉鎖し、改修工事を行います。

安全・安心で快適なまちづくり

防災力向上事業

1億512万円

昨年の台風19号の教訓も踏まえ、自助・共助・公助の連携を確認し、市民の防災意識をさらに高めるため、市内全域を対象とした総合防災訓練を7月5日に実施します。

また、避難所の非常用食料や飲料水などの備蓄品を計画的に配備するとともに、間仕切りパーテーションなどを購入し、居住環境の整備を進めます。

橋りょう長寿命化整備事業

3億8310万円

老朽化、損傷の激しい橋りょうの修繕を行い、安全で安心して利用できる道路の整備に努めていきます。平成29年度から継続している岩沼橋架替工事を行います。

道路新設改良事業

1億4890万円

幅員の狭い道路の改良を行い、安全で安心して利用できる道路の整備に努めていきます。昨年度に引き続き、朝日2号線道路改良工事を行います。

公共土木災害復旧事業

8千万円

台風19号で被災した志賀沢川（市管理区域）の復旧工事を行います。



復興への取り組み

■復興五輪関連事業……………1400万円  
7月から東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。聖火リレーや、南アフリカの復興ありがとうホストタウン事業に取り組むことで、岩沼市の復興した姿を国内外に発信し、支援への感謝を伝えていきます。

■津波避難誘導標識設置事業……………509万円  
東部地区における迅速で適切な避難を確保するため、避難所・避難場所までの避難誘導標識を整備し、効率的で円滑な避難を支援します。

■空港三軒茶屋線外舗装補修……………4億8400万円  
復旧、復興事業に伴う大型工事車両の通行量増加により損傷した道路舗装の補修を行います。



新規の取り組み

■RPA実証実験……………337万円  
行政事務の効率化等を図るため、データ入力作業を自動化するRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）など、先進的なICTを導入し、その効果を検証します。

■玉浦コミュニティセンター指定管理関連費用……………2500万円  
今年度から玉浦まちづくり協議会による指定管理が始まります。

■戸籍総合システムクラウド化……………984万円  
戸籍総合システムをクラウド型戸籍システムへ移行し、将来的に戸籍事務へのマイナンバー制度を導入することへの対応もできるようにします。

■国民健康保険人間ドック費用助成……………1032万円  
受診年度に40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳に達する国民健康保険加入者のうち人間ドックを受診し、市に検査結果の写しなどを提出した方に対し、人間ドック費用の一部を助成します。（12ページに関連記事）

■ロタウイルスワクチン定期接種化……………751万円  
10月1日から定期接種を開始します。対象は、令和2年8月1日以降に生まれた乳児となります。（15ページに関連記事）

■造血幹細胞移植後のワクチン再接種費用助成……………24万円

造血幹細胞移植（骨髄移植、末梢血幹細胞移植および臍帯血移植）により、移植前に接種した予防接種法に基づく定期の予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断された方が、任意で再度の予防接種を受ける場合に要する費用の一部を助成します。

■航空機騒音データ分析業務……………450万円  
昨年度に実施した航空機騒音測定データをより詳細に分析し、飛行経路などの実態把握を行います。

■公共施設長寿命化計画策定……………5500万円  
市の公共建築物は、築30年以上の施設が多く、老朽化による大規模な改修・改築などの更新時期を迎えています。保有する施設の長寿命化を図り、改修・改築などを適切に進めるため、長寿命化計画未策定の施設について、今年度に一括して長寿命化計画を策定します。

■宮城県高等学校駅伝競走大会開催……………40万円  
10月17日に、宮城県高等学校駅伝競走大会を、ジュニアパーク岩沼（岩沼海浜緑地公園北ブロック）を会場に予定しています。

